

令和3年8月三田市教育委員会定例会会議録

○開催日及び場所

令和3年8月25日（水）
午後2時00分開会 午後3時20分閉会
三田市役所 南分館 601会議室他
※新型コロナウイルス感染拡大防止のためリモート会議で開催

○議事日程

日程第1 開会
日程第2 前回会議録の報告、承認
日程第3 会議録署名委員指名
日程第4 会期の決定
日程第5 教育長の報告
日程第6 議事 議案第22号から第23号
日程第7 報告事項 報告第23号から第24号
日程第8 その他

○会議に出席した委員（5名）

1番	鹿嶽昌功	2番	吉田礼子
3番	三木尚美	4番	中上之仁
5番	大野裕己		

○説明のため出席した者（10名）

学校教育部長 松下修 学校教育部次長 外岡明文
教育総務課長 浅野晋司 学校教育課長 山本直也
教育支援課長 山口貴久 教育研修所長 小山恵介
学校給食課長 廣瀬敏彦 教育総務課担当課長 上野樹
文化スポーツ課 横溝朋之

三田市立ひまわり特別支援学校教科用図書選定委員会委員長 吉田裕彦

○代表学校長（2名）

中学校校長会代表 大野正人
小学校校長会代表 木久整

○会議に関係した事務局員（3名）

教育総務課 鈴木さやか
松田成行
清家梨奈子

○会議録署名委員

教 育 長 鹿 嶽 昌 功

教 育 委 員 吉 田 礼 子

日程第1 開 会

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ただいまから令和3年8月第269回三田市教育委員会定例会を開会いたします。現在、緊急事態宣言期間のためオンライン開催となります。

日程第2 前回会議録の報告、承認

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは前回会議録の報告を事務局よりお願いします。

○教育総務課長
(浅野 晋司)

(令和3年7月27日教育委員会定例会会議録により説明)

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ご質問等ございませんでしょうか。
なければ、このように承認させていただきます。

日程第3 会議録署名委員指名

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、会議録署名委員指名に移ります。
会議録署名委員は、2番 吉田礼子 委員にお願いします。

日程第4 会 期 の 決 定

○教育長
(鹿嶽 昌功)

会期は本日一日、令和3年8月25日水曜日午後2時00分開会といたします。

日程第5 教 育 長 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

兵庫県も、8月20日から4度目の緊急事態宣言が発せられ、最近の急激な感染者増加に対応しているところです。現

在は夏休み中ではありますが、子どもたちの感染状況についても学校から報告いただいております、2学期に向けて非常に危機感を持っているところです。

8月2日から再度、三田市がまん延防止等重点措置地域に指定され、このような状況の中、8月3日と5日の2日にわたり、小学校教諭が同僚宅に集まり酒類を伴う会食、いわゆる「宅飲み」を行ったことで感染が広がりました。このことにつきまして、改めてお詫び申し上げます。

子どもたちを育成する学校という組織に所属し、子どもたちへの感染防止と、その意識の啓発に先頭になって取り組むべき教職員としてあるまじき行為であり、この事態を深く受け止めております。

コロナウイルスに感染すること自体は普通の社会生活を行っていてもあり得ることであり、それは決して悪いことではありません。ただ、県知事メッセージにあるように、「友人等との宅のみは絶対にしないでください」と、学校を通じてこれまでも何度か注意喚起しているにも関わらず行ったこと、誠に遺憾であります。今後このようなことが絶対にならないように、すべての職員が危機意識をもって取り組むよう徹底した指導を行ってまいります。

それでは、前回7月27日以降の私の活動6点に関して報告します。

1) 祥雲館高等学校SSH運営指導委員会(7/28)

7月28日祥雲館高校での第1回スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指導委員会が開催され参加しました。第2期のSSHは平成29年から始動しまして、本年令和3年度が最終年度となります。第3期の指定に向けて2期の取組の総括と、課題等について報告があり意見交換いたしました。

2期での「地域連携」については、地元三田の小中との連携といったことが掲げられています。サイエンスフェスティバルやこうみん未来塾等、小学生を中心に関わっていただいておりますが、中学校や他の高等学校とのつながりが弱いといった課題が指摘されました。

今後、祥雲館高校の強みでもある「探究」という視点で市内中学生と連携する「探究教室」等も検討されているところです。

なお、今年も9月30日に「祥雲探究祭」が開催されます。参加申し込みも可能となっておりますので、よろしくご願ひい

たします。

2) 兵庫県教育委員会への令和4年度予算要望(8/3)

8月3日、毎年実施しています兵庫県教育委員会に対する令和4年度予算要望を県都市教育長協議会の副会長をさせていただいていることから、会長とともに各役員の皆さんと兵庫県庁の西上教育長に直接伝えてまいりました。

要望内容につきましては、様々な要望の中から10点の重点項目をまとめ、そのうち3点について説明しました。

一つは35人学級について、小学校に引き続き、中学校においても国に働きかけていただきたいこと、小学校5、6年生の教科担任制は県の新学習システムとは別枠で人員配置願いたいこと等を要望しました。2点目は、特別支援学級の学級編成基準8人の引き下げと、通級指導担当教員等の配置の拡大を、3点目は教職員の多忙化解消としてのスクールサポートスタッフの拡充、国予算に見合う県負担の充実により市町の規模に沿った配置を要望しました。

兵庫県自身も非常に財政的に厳しいことから、難しい部分もあるとのことでしたが、子どもたちのために何とか取り組んでいただきたいと思っています。

3) 加古川市への学校再編の視察(8/6)

8月6日、加古川市で取り組んでおられる義務教育学校設置について視察に行きました。児童生徒数それぞれ150人規模の平荘小学校と上荘小学校、その校区の両荘中学校、3校を一つの義務教育学校として再編し450人規模の学校として令和6年開校に向けて取り組まれています。

やはり、対象を現行の中学校区単位で取り組まれていること、当該地域の保護者や地域の皆さんの教育環境改善に向けた前向きな意識が推進の大きな力となっているとのことでした。その理解・協力を得るために丁寧な説明を重ねられてきた、そういった努力が最も重要であると感じました。

教職員への理解・対応といったことも課題ではありますが、そのような新たな学校組織に関心のある教員もいます。そういった職員から順次理解を深め、広げていくことが大切であり、すべての教職員というより、関心の深い教職員に対して一歩ずつ進めることが大切であると感じました。

これまでの都市部の義務教育学校の視察とともに、農村部における再編において非常に参考になりました。

4) 阪神7市1町教育委員会連合会総会研修会(8/11)

8月11日、各教育委員の皆さんにも参加いただき、阪神7市1町教育委員会連合会総会と研修会がリモートで開催されました。

昨年の事業報告とともに今年の活動について議決され、新しく監査を追加した組織体制も整いました。

そのあと、伊丹市で取り組まれている幼児教育の取組、小学校への接続について報告をいただきました。本市の幼児教育は市長部局にあるとはいえ、これら課題は各市共通の課題であり、伊丹市の取組を参考にしていきたいと思えます。

5) 「共生の火」採火式(8/12)

8月12日、昨日から開催されている東京2020パラリンピックの聖火をとす「共生の火」採火式は、あいにくの雨模様でしたが、市役所玄関前で行われました。日本各地で採火されたパラリンピックの火が集められ、昨日の開会式で聖火として灯されました。

オリンピックとともに、コロナ感染拡大で様々なことが言われてきましたパラリンピックではありますが、選手の皆さんには全力で取り組んでいただき、その感動を国民の皆さんに伝えていただきたいと思えます。

6) 阪神7市1町教育長協議会(8/24)

昨日24日、年2回開催されている阪神7市1町教育長協議会が当番市の芦屋市によりリモートで開催されました。

今回は、コロナ感染が若い世代、特に小中学生に急激に広がる中での、緊急事態宣言下における2学期から教育活動のあり方等について協議しました。

各市とも学校における感染防止をさらに徹底するとともに、万が一臨時休業となった場合を想定し、一人一台のタブレットを活用した学習を保障します。オンライン授業や課題配信、健康観察まで方法は様々ですが、この時期だからこそ実践していける、そんな前向きな形で進められています。

本市においても、学級閉鎖などの臨時休業といったことも見据えながら、できることから進めていかなければならないと思っています。

報告は以上です。

明後日、27日金曜日から予定通り2学期が始まります。

「学校に持ち込まない、学校内で感染拡大させない」ことを基本に、教職員自らが率先して感染対策に取り組んでまいります。

日程第6 議 事

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは本日の議事に入ります。

(1) 教科用図書の採択を行うことについて

【三田市教育委員会事務委任規則第1条第15号】

議案第22号「令和4年度使用三田市立ひまわり特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明をお願いいたします。

○三田市立ひまわり
特別支援学校教科用
図書選定委員会委員
長(吉田 裕彦)

「令和4年度使用三田市立ひまわり特別支援学校高等部教科用図書の採択について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問、ご意見等ございますか。

なければ、私から1点申し上げます。

今回の教科書採択は、小中学校の9条本に加え、高等学校分で追加4冊の申請となりますが、高等部に通う児童の障害に沿った採択なのか、あくまでも一般的な小中学校の9条本に加えて高等部で必要とされる内容のものなのか、どちらになりますか。採択基準では、それぞれの障害に応じた工夫が必要とありますが、いかがでしょうか。

○三田市立ひまわり
特別支援学校教科用
図書選定委員会委員
長(吉田 裕彦)

先ほどご紹介しました「うみの100かいだてのいえ」という本は、肢体不自由の子どもの特徴に合わせて選定しました。肢体不自由の障害の特徴としまして、マイナスを意識するのが苦手なところがあります。車椅子を利用していると前に進むため前面は捉えやすいですが、どうしても背面は意識が弱く、算数や数学的な観点からもマイナスが苦手な面がありますので、そういった子どもたちにとってこの本が適していると判断し選んでおります。

また、「いちばんしあわせなおくりもの」の本については、特に高等部の段階で自分の存在意義を学ぶ教育の最後の過程において、自分の存在そのものに意義があるのだというメッ

ページが含まれている教科書ですので大いに活用できると考えております。

もちろん、今回の採択は高等部向けであり障害を意識したものではありませんが、障害だけを意識しての選定ではなく、それぞれの子どもたちにとって適していると判断して選んでおります。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
他にご質問等ございますか。

○教育委員
(三木 尚美)

前回の定例教育委員会で、特別支援学校で使用する教科書については、先生に一人一冊与えられるものではないというお話がありました。教室には先生が授業で使用する教科書として用意されると思いますが、子どもたちがその教科書をじっくり手に取って読んだりしながら、自分の学びとして捉えられるよう活用していただけたらと思います。

○三田市立ひまわり
特別支援学校教科用
図書選定委員会委員
長(吉田 裕彦)

本校(ひまわり特別支援学校)においては、そのお子さんの教科書として使用することの方が多いです。合同で学習する際は、同じ教科書を2冊購入して活用することもあります。高等部では教科書を使用しながら教員の自作教材を使用する場合も多くあります。

○教育委員
(三木 尚美)

私も保護者としての経験上、特別支援学校で使用されている教科書の事については知らないこともありましたので、今回授業の進め方等を知った上で、もっと教科書を有効的に使ってもらえたらと思います。

あと、タブレット教科書も読まれる時代になっていますので、そういった端末を利用していただくのは子どもたちにとっては見やすいのではないかと思います。

○三田市立ひまわり
特別支援学校教科用
図書選定委員会委員
長(吉田 裕彦)

今後はデジタル化がどんどん進んでまいります。今は子どもたちにも一人一台タブレットが用意されていますので、そういったものも十分活用して進めていきたいと考えております。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

他にご質問等ございますか。
なければ高等部より申請のありました今回の17冊を加えて、合計350冊を採択とさせていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

(2) 三田市教育委員会事務処理規程第13条に関する教育委員会の決定について

【三田市教育委員会事務処理規程第13条関係】

議案第23号「三田市立図書館の令和3年度特別整理期間の設定の変更について」事務局から説明をお願いします。

○文化スポーツ課長
(横溝 朋之)

議案第23号「三田市立図書館の令和3年度特別整理期間の設定の変更について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように承認します。

日程第7 報 告 事 項

○教育長
(鹿嶽 昌功)

続きまして報告事項に移ります。
報告第23号「総合学習アプリの取得について」事務局から説明をお願いします。

○教育研修所長
(小山 恵介)

報告第23号「総合学習アプリの取得について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございませんか。

○教育委員
(吉田 礼子)

この総合学習アプリは学校ではいつから使用できるのですか。

○教育研修所長
(小山 恵介)

学校では12月から導入を開始し、来年1月より本格的に活用する段取りで進めております。12月から順次となりますが、少しでも活用を促していきたいと考えておりますので、先行導入校を選定し進めていただこうと思っております。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
他にご質問等ございますか。
なければこのように報告させていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

つづきまして、
報告第24号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明をお願いします。

○教育総務課担当
課長(上野 樹)

報告第24号「9月教育委員会開催行事予定について」事務局から説明

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
なければこのように報告させていただきます。

日程第8 その他 の 報 告

○教育長
(鹿嶽 昌功)

では、次回、9月の教育委員会定例会の日程について事務局からお願いいたします。

○教育総務課担当
課長(上野 樹)

9月教育委員会定例会の開催日時は令和3年9月24日
(金)午後2時00分から、南分館601会議室で予定しております。
よろしくお願いいたします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

それでは、各校長からの報告です。
まず中学校代表校長より報告をお願いいたします。

○中学校校長代表
(大野 正人)

○夏休み中の活動について

中学校では8月も子どもたちは学校で活動しています。その中心は部活動ですが、体育大会の準備や個別の学習なども学校で頑張っています。3年生は、最後の総体でひとりひとりが輝くことができました。三田市、丹有地区、兵庫県、近畿と熱戦を勝ち抜き全国大会で活躍した選手もいます。また、ほとんどの運動部は2年生を中心とする新チームがスタートしています。今年の夏は、「新型コロナウイルス」感染症に加え、台風の上陸や前線の停滞など天候も不順で、十分な練習ができたとはいえない状況ですが、それでも1、2年生は夏休みが始まる前と比べると、技術的にも精神的にも大きく成長してくれています。また、文化部においても、吹奏楽部のコンクールでの活躍を始め、各部とも校内で、そして地域でも地道に活動を続けています。また、部活動以外でも子どもたちの活躍のニュースが次々と学校にも入っています。教職員は、部活動の指導の合間を縫うかのように、長期休業中だからこそ時間をかけてじっくり取り組める研究と修養に勤しんでいます。市教委主催の全体研修、担当者研修に加え、三田市及び県教育研修所主催の自主研修にも積極的に取り組むとともに、各校でも校内研修に余念がありません。

○新型コロナウイルス感染拡大への懸念について

「新型コロナウイルス」感染症は拡大の一途をたどっています。先日19日の臨時校長会で今後の対応が確認されましたが、その後の状況の更なる悪化に伴い、本日2学期の対応に変更がなされました。学校行事をはじめ教育課程の実施の先が見えず、今後の学校運営の難しさを各校長とも痛感しています。生徒と職員の感染、体はもちろん心の健康をどう維持していくかも大きな課題です。感染予防の鍵ともいえるワクチン接種ですが、教育委員会のご尽力により職員の優先接種を進めていただいているものの、希望者全員にはまだまだ行き渡らない状況があり、保護者や地域の方からは「三田市の先生はワクチン接種が進んでいないと聞いています。まもなく2学期が始まりますがそのことが感染拡大に繋がらないか心配です。」という声も頂戴し困惑しています。また、「学校として生徒へのワクチン接種を推奨してほしい。」という

ご意見もいただいています。このように苦しい状況下ですが、保護者、地域の皆様方からは「夏休みも先生方には本当によくしていただいています。ご自愛ください。」など心温まるメッセージをいただき、感動と感謝の毎日です。

○2学期を迎えるにあたって

1学期の終業式で生徒たちに、「『命』と『心』を大切に、設定した目標に向かって、計画的に有意義な毎日を送ってほしい。」そして「2学期始業式で皆さんひとりひとりの素敵な『笑顔』に出会えることを心待ちにしている。」と話しました。27日始業式を、すべての中学生が笑顔で迎えられることを心より願っています。

2学期も、熱中症対策を十二分に行いながら、安全・安心の中で教育活動ができるよう、「新型コロナウイルスを学校に持ち込まない、学校内に広げない」を基本とし、感染症対策に最善をつくすとともに、子どもたち一人一人の心のケアに全力を尽くしながら、日々の教育活動に全身全霊で努めてまいります。三田市教育委員会の皆様には、引き続きご指導ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

○小学校校長代表 (木久 整)

○始業式を迎えるにあたって

もうすぐ夏休みが終わり、2学期が始まります。期間は通常通りでしたが、コロナ禍の中いろいろ制約の多い夏休みだったと思います。1学期の終業式では、「失敗してもいい。長い夏休みだからこそできることに挑戦してほしい。」と言いました。27日の始業式の日には、子どもたちの笑顔を見ると、どんな挑戦をして、どんな結果になったのかを聞くのが楽しみです。

○2学期の学校行事について

2学期は緊急事態宣言が発出された最中でのスタートとなります。9月12日までに修学旅行を予定していた学校は延期となりました。それ以降の9月に予定していた学校も10月以降に延期していています。修学旅行は、さらなる延期も視野に入れながら、必ず6年生を連れていくという思いを持って各校取り組んでいます。自然学校は当初は「2泊3日の宿泊」と「2日間の校内実施」としていましたが、現在の感染拡大状況を鑑み、「2日間の日帰り実施」と「3日間の校区内実施」に変更しました。宿泊がなくなって非常に残念ではありますが、より良い自然学校にで

きるよう各校で工夫を凝らしていきたいと思ひます。
その他、2学期には運動会、音楽会といった大きな行事が控えていますが、その時々感染状況を見ながら、対策を十分にとり組んでいきたいと思ひます。2学期もどうぞよろしくお願ひします。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

ありがとうございました。
それではその他配布資料等ございますか。
ないようでしたら、事務局の方から先ほど代表校長からお話がありました2学期の三田市立学校の対応についてご報告させていただきます。

○学校教育部次長
(外岡 明文)

2学期の変更についてご説明させていただきます。
始業式につきましては8月27日(金)で変更はございません。翌週30日(月)から学校によっては給食が始まり、通常授業を予定されている学校もあるかと思ひますが、9月3日(金)までは給食の提供はせず午前授業へ変更させていただきます。新型コロナウイルス感染が広がる中、兵庫県の発表において8月11日から24日までの2週間で、10代の学生、10歳未満の児童の感染者数が市内25人にも達している状況です。これまでは月に数人という報告でしたが、ここへきて急激に増えているのが現状です。少しでも子どもたちの感染リスクを減らしながら教育活動を続けていくためとご理解いただければと思ひます。
また、部活動につきましても、これまで平日4日2時間以内かつ土日いずれか1日3時間以内、練習試合は公式試合の3週間前より実施可能としておりましたが、8月27日(金)の始業式から9月5日(日)までは平日も含めて中止、以降緊急事態宣言期間中は土日も中止と変更させていただきます。運動会等の学校行事につきましても、緊急事態宣言期間中においては実施をせず延期とさせていただきます。
なお、公立幼稚園につきましても9月3日までは給食は実施せず、その他園の行事につきましても学校に準ずるとしてあります。さらに、放課後児童クラブにつきましても、午前授業の変更に伴い預かり時間が早まることとなりますが、開所時間を変更し対応してまいります。何卒ご理解のほどよろしくお願ひいたします。

これらの対応につきまして、各学校長より本日保護者向けに電子メールで周知させていただき、あらためて始業式に文書で配布をさせていただく予定です。
以上、ご報告させていただきます。

○教育長
(鹿嶽 昌功)

何かご質問等ございますか。
ないようでしたら8月教育委員会定例会を閉会いたします。